

入札説明書

宮崎県水産試験場が行う令和4年度漁海況調査事業に係る委託調査業務（海洋観測）に係る入札公告に基づく一般競争入札については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

入札に参加する者は、下記事項を熟知の上で入札しなければならない。この場合において、当該説明書等について質問がある場合は、下記6の(2)に問い合わせることができる。ただし、入札後に説明書等についての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

1 公告日 令和4年4月7日

2 競争入札に付する事項

- (1) 委託件名 令和4年度漁海況調査事業に係る委託調査業務（海洋観測）
- (2) 委託内容 沿岸定線調査
別添仕様書のとおり
- (3) 委託場所 日向灘
- (4) 委託期間 令和4年5月1日から令和5年1月31日まで

3 入札参加資格

この競争入札に参加する資格を有する者は、県が発注する建設工事等の契約に係る入札参加者の資格等に関する要綱（平成20年5月19日宮崎県告示369号）に基づく令和2・3年度の入札参加資格の認定を受けている者で、開札日当日において次の条件を満たしている者とする。

- (1) 建設関連業務の種類が「土木関係建設コンサルタント業務」で、登録部門が「港湾及び空港」又は「水産土木」であること。
- (2) 平成28年度以降に完了した次の事項を満たす業務を元請けとして実施した実績が複数あること。
ア 国又は地方公共団体発注の海洋における水質（水温・塩分）調査、プランクトン調査、流況調査（個別案件でも可）
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。

4 入札参加資格を得るための申請方法

令和4年4月14日 木曜日 午後5時までに入札参加資格確認申請書（別記様式第1）に必要書類等を添付した上で、下記6の(2)まで持参又は送付（郵便にあっては書留郵便に限る。）すること。入札参加資格の確認結果は、令和4年4月15日 金曜日までに通知する。

5 委託内容の仕様等

別添仕様書のとおり

- ・委託業務内容についての問い合わせ先

〒889-2162 宮崎市青島6丁目16番3号

宮崎県水産試験場 資源部（資源部長 金丸 昌慎、主任研究員 山田 和也）

TEL 0985-65-6214

FAX 0985-65-2121

6 入札

(1) 入札に参加する者は、別記様式第2による入札書を持参又は送付（郵便にあつては書留郵便に限る。）により提出しなければならない。なお、電話、電報、テレックス、ファクシミリその他の方法による入札は認めない。

(2) 入札書の提出場所、契約条件等の問い合わせ先

〒889-2162 宮崎市青島6丁目16番3号

宮崎県水産試験場管理課

TEL 0985-65-1511

(3) 入札書の提出期限 持参又は送付のいずれの場合も令和4年4月21日 木曜日 午前9時30分時までに必着のこと。

(4) 入札書の記載方法

令和4年4月21日（入札書提出期限日）以前の日付を記入すること。

また、入札書に記載する金額は、消費税及び地方消費税相当額を除いた額とする。

(5) 代理人が入札を行う場合は、別記様式第3により委任状を提出するほか、入札書に入札者の氏名又は名称若しくは商号（法人の場合は代表者の職氏名）、代理人であることの表示及び当該代理人の氏名を記載して押印（外国人の署名を含む。以下同じ。）をしておかなければならない。

(6) 入札書は封筒に入れ密閉し、かつ、封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び『4月21日開封令和3年度漁海況調査事業に係る委託調査業務（海洋観測）入札書在中』と朱書きしなければならない。

なお、送付により提出する場合は二重封筒とし、入札書を中封筒に入れ密封の上、当該中封筒の封皮には持参により提出する場合と同様に氏名等を朱書きし、外封筒の封皮には『4月21日開封令和4年度漁海況調査事業に係る委託調査業務（海洋観測）入札書在中』と朱書きしなければならない。

(7) 入札者又はその代理人は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしなければならない。ただし、入札書の表記金額は訂正できない。

(8) 入札者が連合し、又は不穏な挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行することができない状態にあると認めるときは、入札の執行を延期し、又は取り消す。

7 開札

(1) 開札の日時 令和4年4月21日 木曜日 午前10時

(2) 開札の場所 宮崎県水産試験場 2階会議室

(3) 開札には、入札者又はその代理人が立ち会わなければならない。この場合において、入札者又はその代理人が立ち会わないときは、入札執行事務に関係のない職員を立ち

会わせてこれを行う。

8 再度入札

- (1) 開札をした場合において、落札者がいない場合は直ちに再度の入札を行う。
- (2) 再度の入札の回数は、1回を限度とする。
- (3) 再度の入札書の様式は、初度の入札で使用したものと同一ものを用いるが、当該様式の上部の「入札書」と書かれた左横の空欄に手書き等で「再」と記入すること。
- (4) 再度の入札を辞退しようとするときは、辞退する旨を記入した入札書を提出しなければならない。
- (5) 再度入札に立ち会わない者がいる場合は、辞退とみなす。

9 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

入札金額の100分の5以上の入札保証金又はこれに代わる担保を納付又は提供すること。

ただし、次に該当すると認められるときは、入札保証金の納付が免除される。

ア 宮崎県を被保険者とする入札保証保険契約(契約希望金額の100分の5以上)を締結し、その証書を提出する場合。

イ 落札者が契約を結ばないこととなるおそれがないと認められるとき。

(2) 契約保証金

契約金額の100分の10以上の契約保証金又はこれに代わる担保を納付又は提供すること。

ただし、次のア又はイのいずれかに該当すると認められるときは、契約保証金の納付が免除される。

ア 宮崎県を被保険者とする履行保証保険契約(契約希望金額の100分の10以上)を締結し、その証書を提出する場合。

イ 過去2年度に国又は地方公共団体又は独立行政法人、国立大学法人若しくは地方独立行政法人と種類及び規模をほぼ同じくする契約を2回以上にわたって締結し、かつ、これらをすべて誠実に履行したことを証明する書面を提出し、その者が契約を履行しないこととなるおそれがないと認められる場合。

10 入札の効力

次の(1)から(3)のいずれかに該当する入札は無効とする。なお、無効となる入札をした者又は初度の入札に参加しなかった者は再度の入札に参加することはできない。

- (1) 宮崎県財務規則125条に規定する入札
- (2) 虚偽の入札参加資格確認の申請を行った者のした入札
- (3) 入札参加資格のあることを確認された者のうち、入札時点において入札参加資格のない者のした入札

11 落札者の決定の方法

- (1) 予定価格以内で最低価格の有効な入札を行った者を落札者とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が二人以上あるときは、直ちに当該入札者にく

じを引かせ、落札者を決定する。この場合において、当該入札者のうち開札に立ち会わない者又はくじを引かない者があるときには、入札執行事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

12 その他

この競争入札の落札者は、発注者の指示により、速やかに契約を結ばなければならない。